Thruller

UW-450

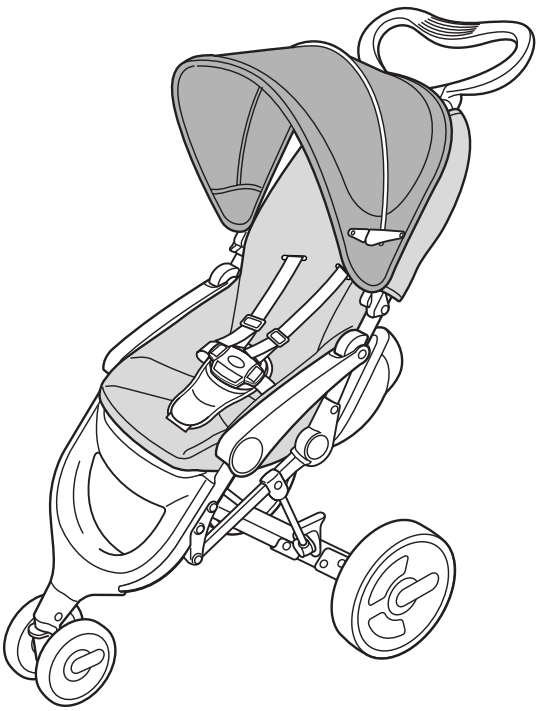
取扱説明書

Combi

コンビ ベビーカー スルーラー UW-450

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■本書は大切に保管してください。
■取りはずしてある部品は、本書をよく読んで正しく取り付けてください。
■本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



もくじ

はじめに

ご使用の前に 2
安全にご使用いただくために 3
各部のなまえ 6

ベビーカーの使いかた

ベビーカーの開きかた 7
ハンドルの高さ調節のしかた 9
キャスターの使いかた 10
ストッパーの使いかた 10
幌の使いかた 11
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた 12
折りたたみかた 14
移動のしかた 16
キャリーバッグの使いかた 17

部品の取り付けかた・はずしかた

シートベルト 19
幌 21
座面用エッグショックパッド 22
股ベルトカバー 22
着脱シート 23

その他

日常のお手入れ 27
保管のしかた 28
点検とアフターサービスについて 28
廃棄方法について 28
品質保証書 29
便利なオプション(別売り) 30

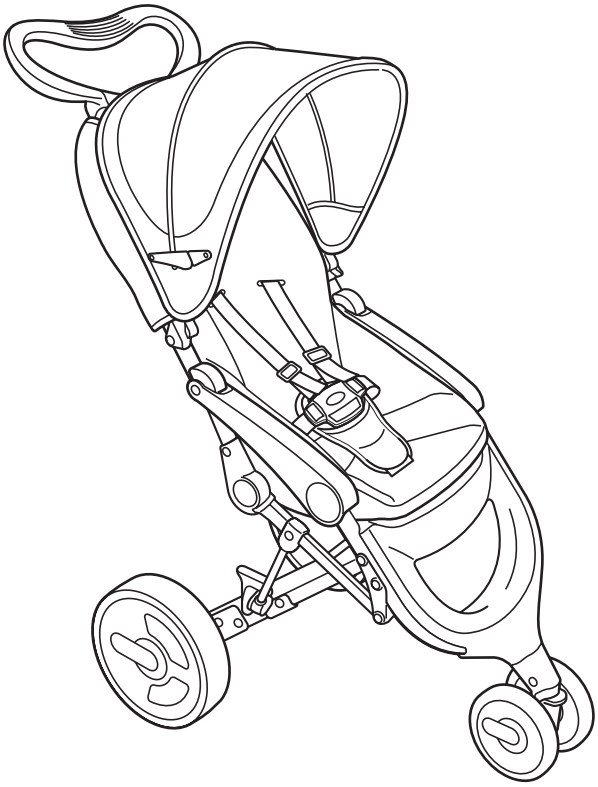
ご使用の前に

●このたびはコンビベビーカー スルーラー UW-450をお買い上げいただき、ありがとうございます。
●この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。
●望ましい連続使用時間：1時間以内
●使用できるお子さまの年齢：生後7ヵ月※以上36ヵ月頃（お子さまの体重の目安 15kg）
※生後7ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、7ヵ月経過したお子さまを示します。

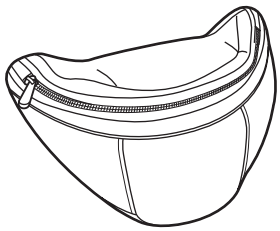
開封されましたら各部品がそろっているかご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたらすべてそろっていることを確認してください。

●スルーラー 本体
●キャリーバッグ
●キャリーベルト(キャリーバッグに収納されています)
●取扱説明書(本書)

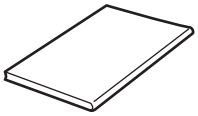


スルーラー 本体



キャリーバッグ

キャリーベルト



取扱説明書(本書)

● 組み立てる前に、29ページ「品質保証書」に次の項目を記入してください。
① ロットNo.(前から見てアームレスト左後方のパイプに貼ってあるシールに記載されています。)
② お客様のお名前・ご住所・電話番号
③ 販売店名

安全にご使用いただくために

●製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

●ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

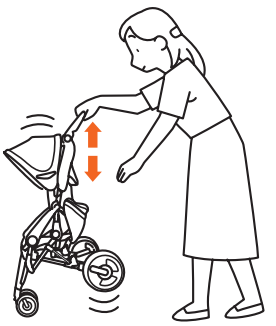
⚠	警告/注意を促す内容があることを告げるものです。
✕	禁止行為であることを告げるものです。

✎	補足説明

⚠警告　取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

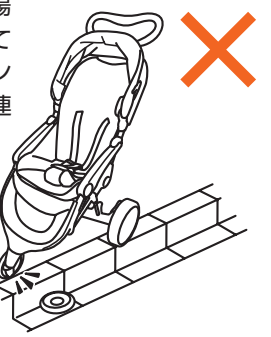
●開閉ロックが確実にかかっていること（ベビーカーが完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。
ハンドルを上下にゆらしても、ベビーカーが折りたたまれないことを必ず確認してください。



●お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

●階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。

●破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。



⚠警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

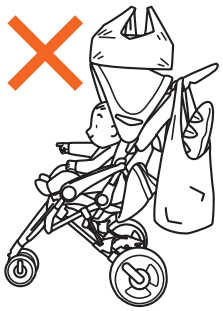
お子さまが落ちるおそれがあります。

●すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。
●お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。

●お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

●お子さまを乗せているとき、キャリーバッグ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。
特にハンドルにつるすと不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。



●ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまを着脱シート以外の所に乗せないでください。また、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

●ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるすなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。

ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

●ストッパーを過信しないでください。
ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。

●お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。

●ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

安全にご使用いただくために

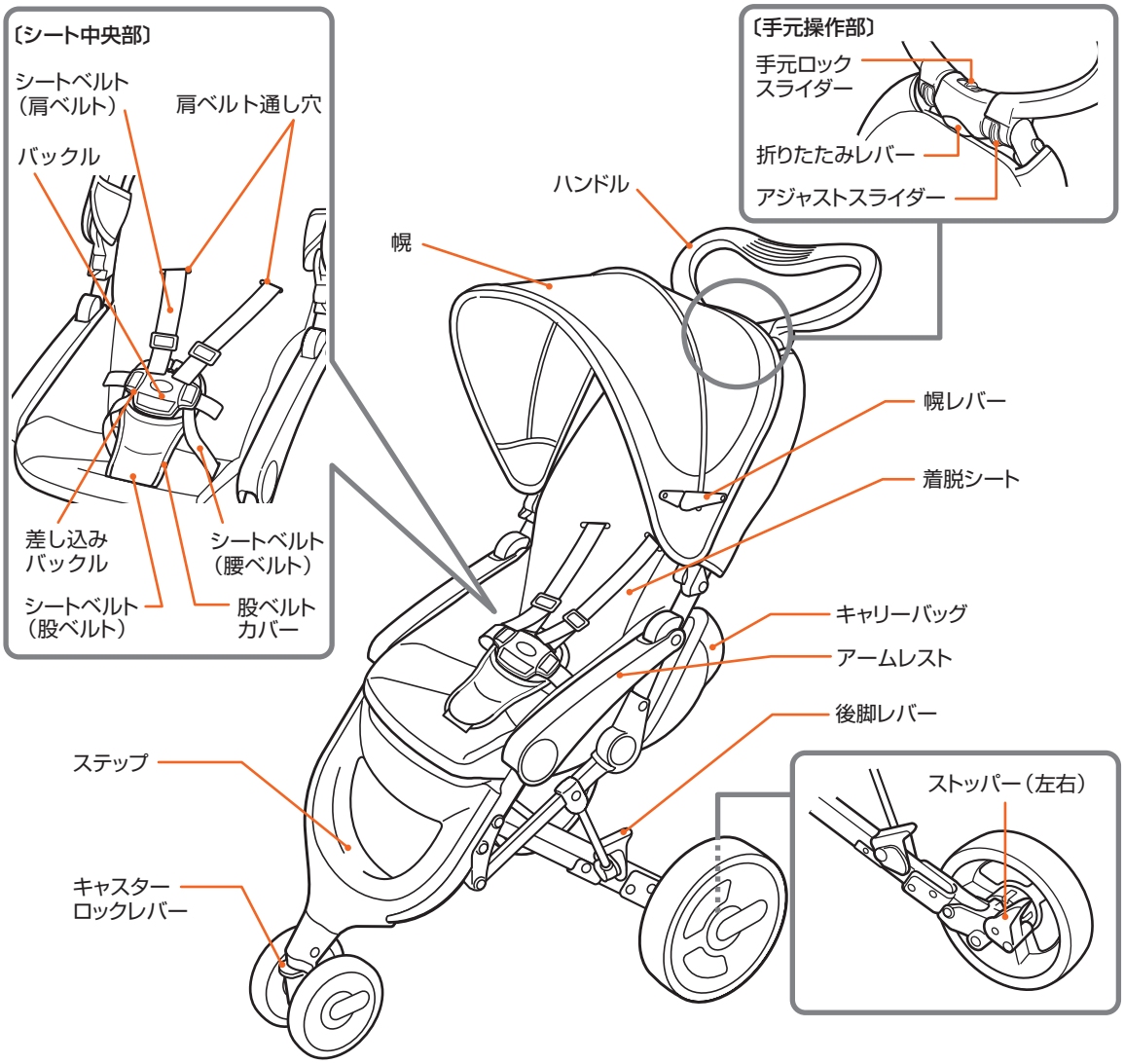
⚠警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

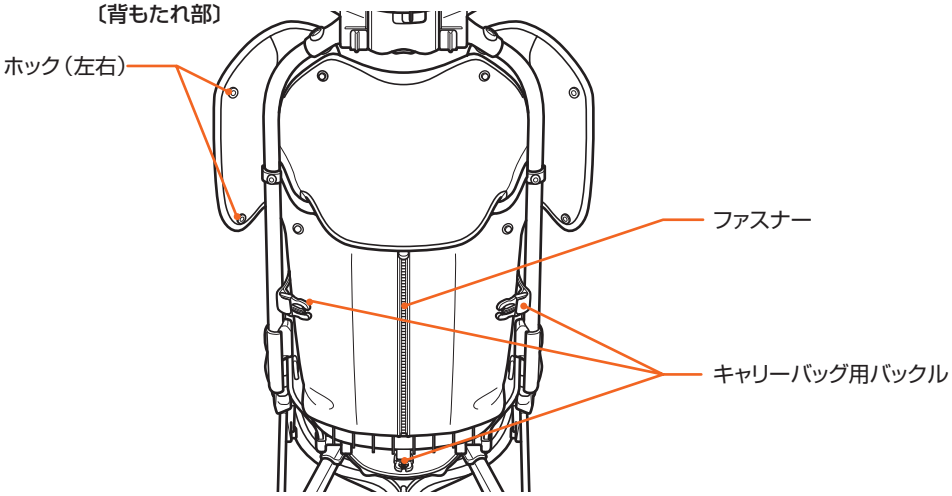
- ●着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足などをはさむおそれがあります。
- ●お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定となり転倒のおそれがありますので、しっかりと支えてください。

⚠注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- ●お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。
  目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- ●お子さまにベビーカーを操作させないでください。
  転倒や思わぬ事故につながります。
- ●ベビーカーの開閉など操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。
  指をはさんだりするおそれがあります。
- ●お子さまを乗せたとき、シートベルトがバックルに装着され、ベルトにゆるみがないことを確認してください。
  お子さまが抜け出したり、落下するおそれがあります。
- ●ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重を加えないでください。
  破損、故障の原因となります。
- ●ベビーカーを押すときは走らないでください。
  走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- ●折りたたむときは、必ず前輪キャスターをロックしてください。
  ロックしないと、ベビーカーを自立させることができません
- ●キャリーバッグには2kg以上の荷物を入れないでください。
  破損の原因となります。
- ●3cm以上の段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。
  段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- ●踏切を渡るときは、線路の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は前輪を浮かせて進んでください。
- ●雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。
  ベビーカーだけでなく保護者も転倒するおそれがあります。
- ●風の強いときには使用しないでください。
  勝手に動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ●雷のときは使用しないでください。
  落雷のおそれがあります。
- ●夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- ●火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。
  故障や変形の原因となります。
- ●ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。
  故障や変形の原因となります。
- ●危険ですから、むやみに改造、分解をしないでください。
- ●ご使用の前に、ネジやナットなどにゆるみがないか確認してください。
  ゆるみがある場合は使用せず、必ず当社コンシューマープラザにご連絡ください。重大な事故につながるおそれがあります。
- ●長時間の使用禁止
  長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。望ましい連続使用時間は、1時間以内です。
- ●バスの中では使用しないでください。
  本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- ●電車の中での使用について
  本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

各部のなまえ

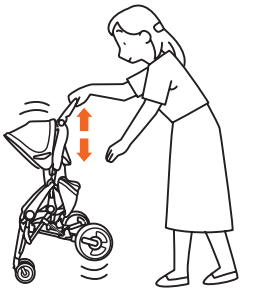

〔シート中央部〕
シートベルト（肩ベルト）
肩ベルト通し穴
バックル
差し込みバックル
シートベルト（腰ベルト）
シートベルト（股ベルト）
股ベルトカバー
〔手元操作部〕
手元ロックスライダー
折りたたみレバー
アジャストスライダー
ハンドル
幌
幌レバー
着脱シート
キャリーバッグ
アームレスト
後脚レバー
ステップ
キャスターロックレバー
ストッパー（左右）


〔背もたれ部〕
ホック（左右）
ファスナー
キャリーバッグ用バックル

ベビーカーの開きかた

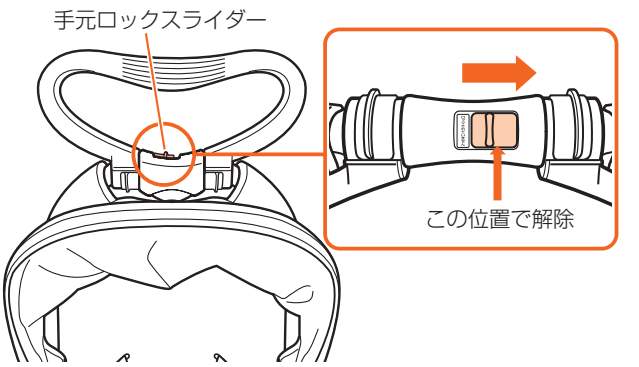
⚠警告

- 使用する前にハンドルを上下にゆらして、折りたたまれないことを必ず確認してください。
- 手元ロックスライダーを必ずロックして使用してください。無意識に折りたたみレバーを握ったときなど、急に折りたたまれるおそれがあります。



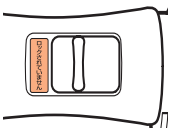
本ベビーカーは、2つに折りたたむことができます。

1 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドし、折りたたみのロックを解除する。



ロックが解除されているときは

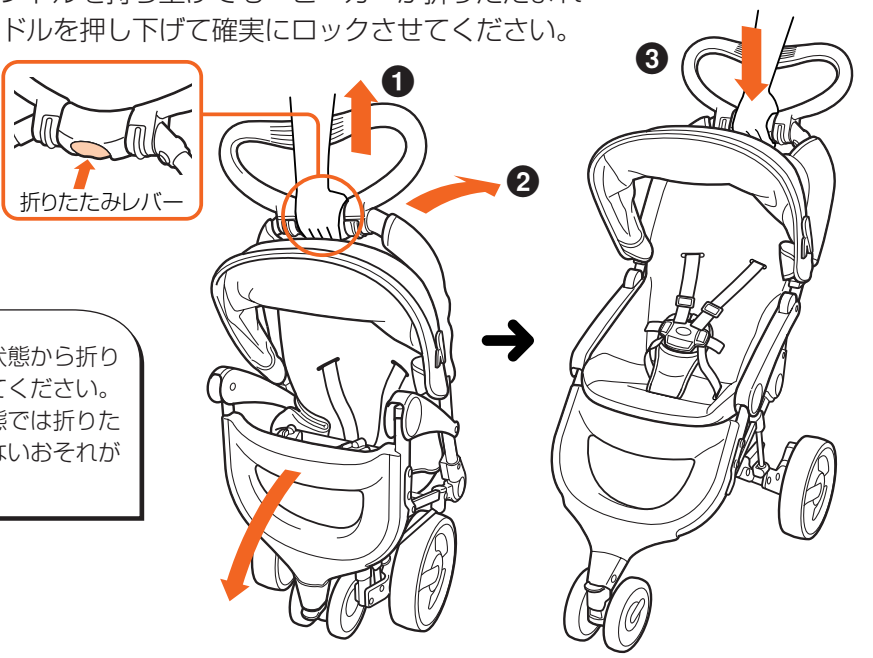
手元ロックスライダーに「ロックされていません」が表示されます。



2 ❶折りたたみレバーを握りながら、ハンドルを持ち上げ、❷そのままハンドルを手前に倒し、❸ハンドルを下に最後まで強く押し込む。

ベビーカーが完全に開きます。

開いたあとは、ハンドルを持ち上げてもベビーカーが折りたたまれないように、ハンドルを押し下げて確実にロックさせてください。

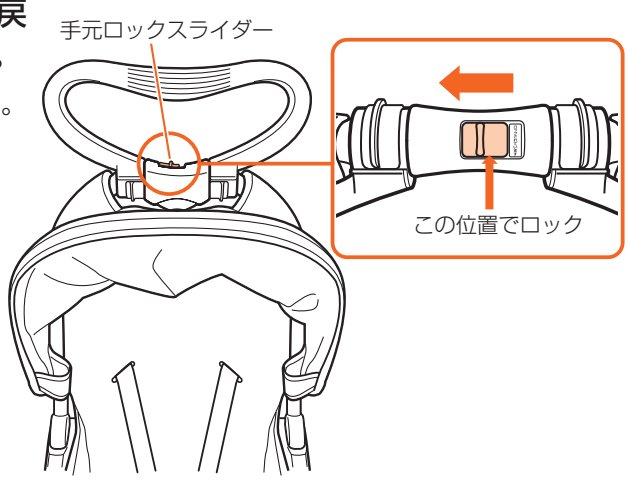


ベビーカーを地面につけた状態から折りたたみレバーを握り操作してください。ベビーカーを持ち上げた状態では折りたたみレバーを握っても開かないおそれがあります。

⚠注意
- 手指をはさむおそれがありますので、座面の前側に手を置いたまま操作をしないでください。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーを持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。

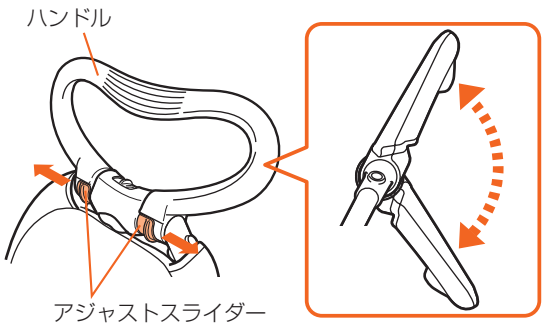
3 手元ロックスライダーを元に戻し、折りたたみをロックする。

折りたたみレバーがロックされます。



4 使用する高さにハンドルを調節する。

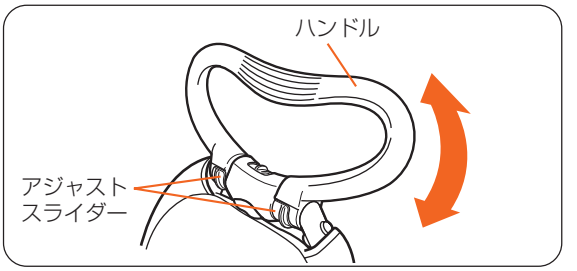
左右のアジャストスライダーを同時に外側にスライドさせながら、ハンドルを調節します。
「ハンドルの高さ調節のしかた」9ページをご覧ください。
※梱包時は、ハンドルが折り曲げられています。



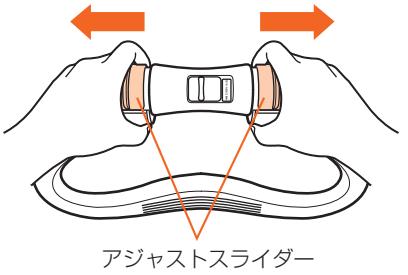
ハンドルの高さ調節のしかた

注意
- ベビーカーを押しながら操作しないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまがハンドルにぶら下がらないようにしてください。ベビーカーが不安定になり、転倒するおそれがあります。

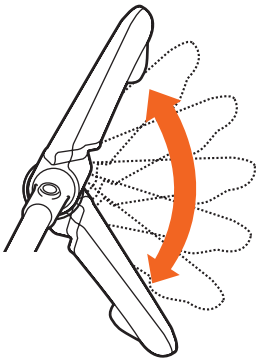
ハンドルの角度を変えてハンドルの高さを調節することができます。
（ハンドルは9段階の調節ができます）



1. 左右のアジャストスライダーを同時に外側にスライドさせながら、ハンドルの角度を調節する。



2. 使用する角度でアジャストスライダーをはなす。



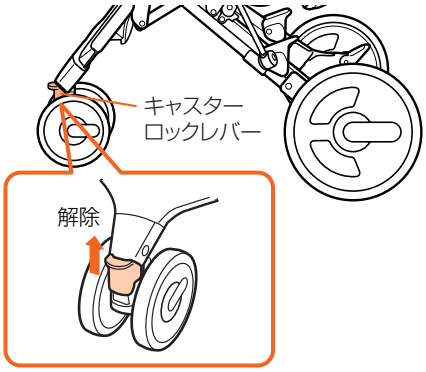
ハンドルの高さを切り替えた後、ハンドルを上下させても動かないこと確認してください。

キャスターの使いかた

●キャスターを使用すると、平たんな路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。
●キャスターをロックすると、坂道や凸凹の路面で押しやすくなります。

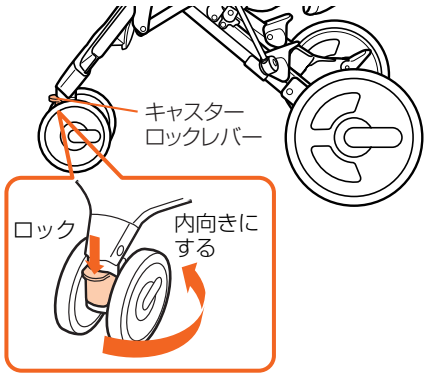
キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを上げ、ロックを解除する。



キャスターを使用しない場合

坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターロックレバーを下げキャスターをロックする。



ストッパーの使いかた

⚠警告

- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出したり転倒するおそれがあります。

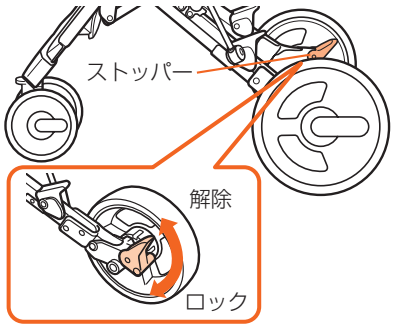
⚠注意

空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全ですと動き出すことがあります。

ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。

ストッパーをロックするとき

1. 左右後車輪のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。



ストッパーのロックを解除するとき

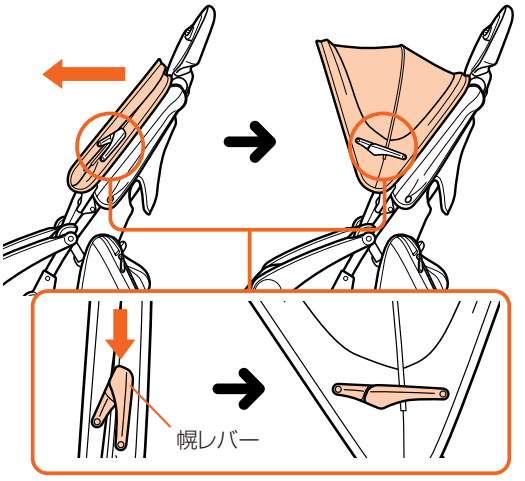
ロックを解除するときは、ストッパーを押し上げる。

幌の使いかた

●幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌をたたんで後側にまとめてください。
●幌の取り付けかたについては、21ページをご覧ください。

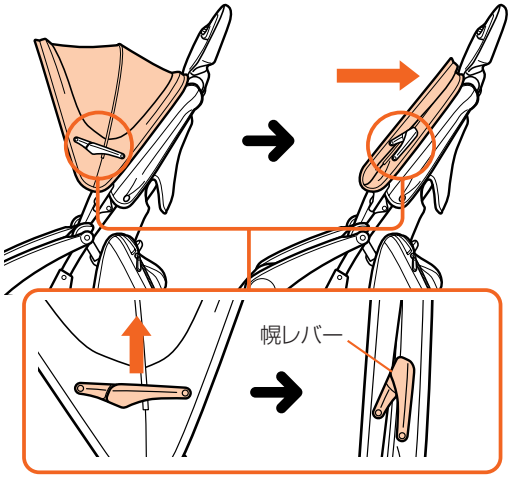
幌を広げるとき

幌を前に広げて、左右の幌レバーの関節部を押し下げる。



幌を収納するとき

左右の幌レバーの関節部を押し上げ、幌を後側にたたむ。

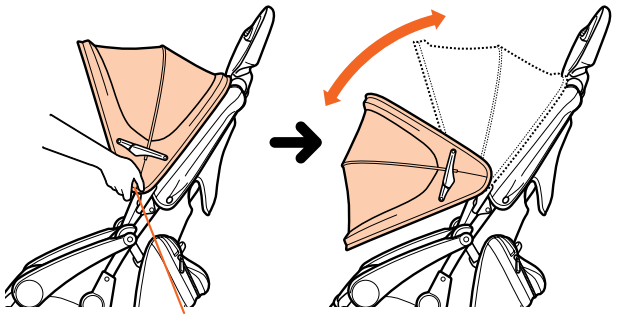


幌をブラインドとして使用するとき

●お子さまが寝ているときや、日差しの低いときなどにブラインドとして使うことができます。

幌を広げたまま両手で幌フレームの根元を持って、前方向に倒します。

「カチッ」と音がして幌の位置が固定されます。使用したい位置でとめてください。
このとき幌を前から見て、幌が左右同じ位置でとめられていることを確認してください。



シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

⚠警告

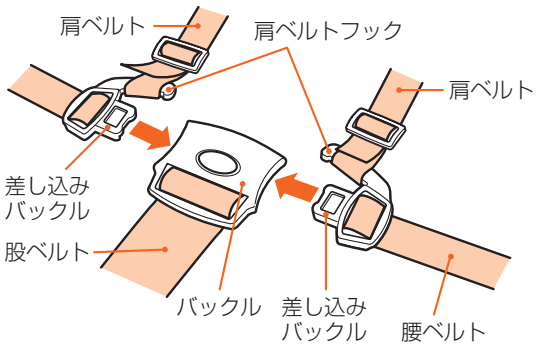
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全ですと、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体にあわせて調節し、抜け出さないようにしっかりと締めてください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

シートベルトとは、股ベルトと腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトの締めかた、はずしかた

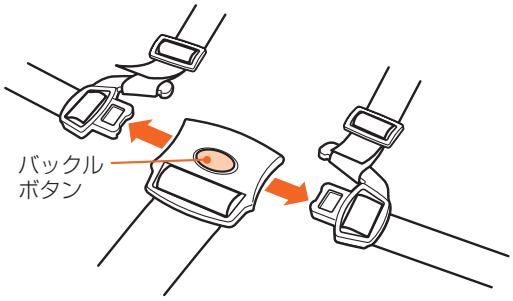
シートベルトを締めるとき

1. 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかける。
2. 股ベルトを引き出し、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
3. 肩ベルト、腰ベルトを引っぱって、はずれないことを確認する。



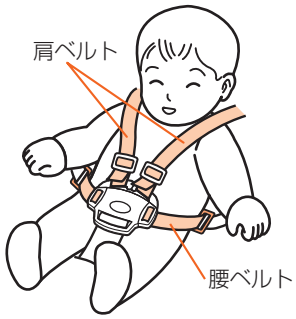
シートベルトをはずすとき

股ベルトのバックルボタンを押す。



お子さまへの装着のしかた

1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。
2. 肩ベルトを差し込みバックルの肩ベルトフック(左右)に引っかけ、バックルの左右に腰ベルトの差し込みバックルを差し込む。

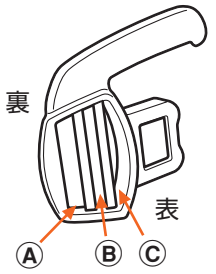


- 長さ調節時に差し込みバックルをはずしたときは、「腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた」(19ページ)をご覧になり、確実に取り付けてください。
  取り付けかたが不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。

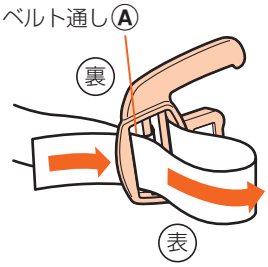
シートベルトの調節のしかた

腰ベルトの長さ調節

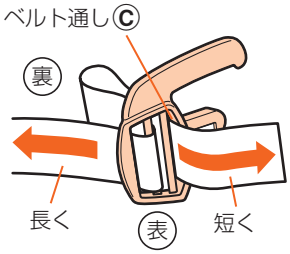
差し込みバックルのベルト通し(ⒶⒷⒸ)



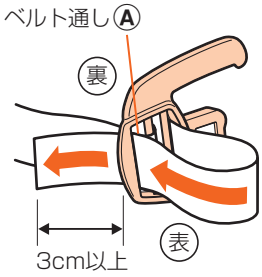
1. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶからはずす。



2. 腰ベルトを左右にひっぱり、ベルトの長さを調節する。



3. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。



こんなときは？

ベルトの調節の目安がわからない

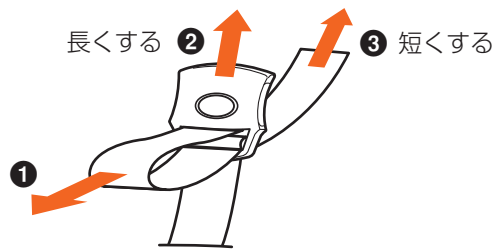
→お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。

⚠注意 腰ベルトの調節後、ベルトを強く引っぱり、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

股ベルトの長さ調節

股ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷バックルを引っぱり、短くするときには、❸ベルトの端を引っぱる。



股ベルトは、取りはずしできません。

肩ベルトの長さ調節

肩ベルトの長さを調節するには、はじめに❶調節したい分の長さを引き出す。
長くするときには、❷の方向に引っぱり、短くするときには、❸の方向に引っぱる。
※ラダーは肩ベルトから、取りはずしできません。

折りたたみかた

⚠注意

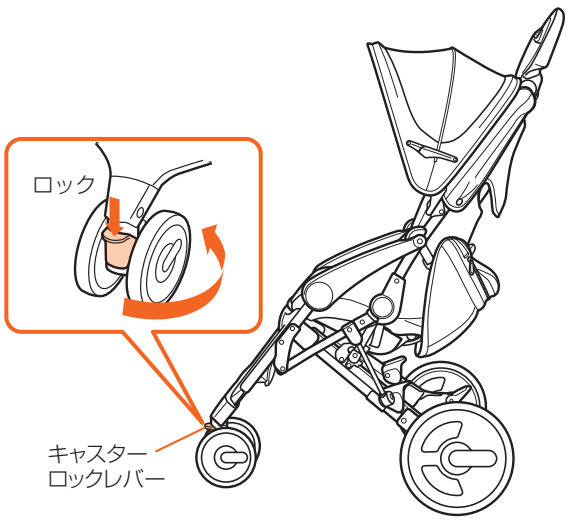
- 手元ロックスライダーは折りたたみ後、必ずロックしてください。また、折りたたみ操作時以外は折りたたみレバーを握らないでください。
- 手元ロックスライダーのロックを解除せずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。
- 何かに引っかかっていたり、はさみ込まれている感じがあった場合には、1度ベビーカーを開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- 折りたたむ前に、キャリーバッグから荷物を取り出してください。荷物が入っているとベビーカーが自立しないおそれがあります。
- 折りたたむ前に、幌がたたまれ後側にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因になります。
- 折りたたむときは、キャスターをロックしてください。キャスターがロックされていないと、折りたたんだ状態でベビーカーを自立させることができません。
- ベビーカーを折りたたみ自立させるときは、なるべく水平な場所で行ってください。床面などが不安定ですと、転倒するおそれがあります。

●幌を取り付けていても、ベビーカーはそのまま折りたたむことができます。折りたたむときは、必ず幌を後側にたたんでまとめてください。

1 前輪キャスターをロックする。

このとき、前輪キャスターの向きは図のように内向きにして、キャスターロックレバーを下げてロックします。

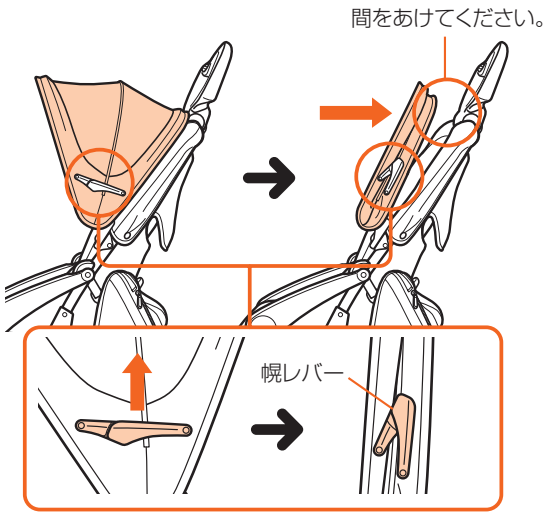
⚠注意 折りたたむときは、必ず前輪キャスターをロックしてください。ロックしないとベビーカーを自立させることができません。



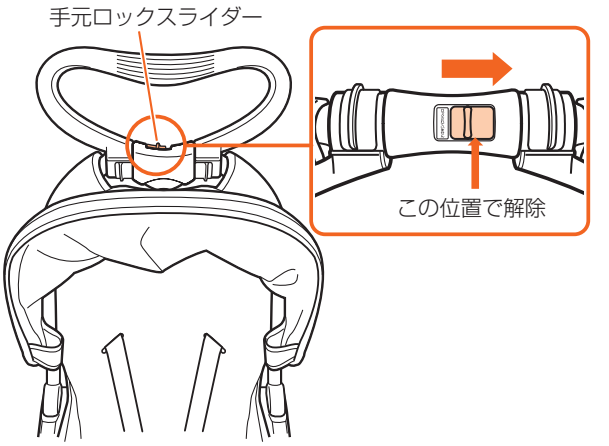
2 幌を折りたたむ。

折りたたみレバーが握れる程度のすき間をあけて幌をたたみます。

⚠注意 幌を前に倒しすぎないでください。幌がアームレストにあたり、アームレストに傷がつくおそれがあります。

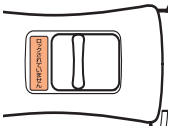


3 ハンドル手元のロックスライダーを右へスライドして、折りたたみのロックを解除する。



ロックが解除されているときは

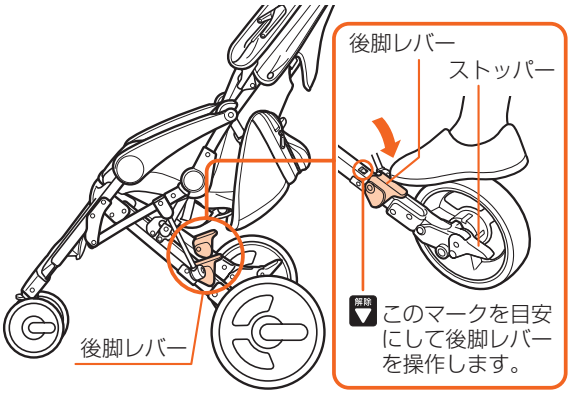
手元ロックスライダーに「ロックされていません」が表示されます。



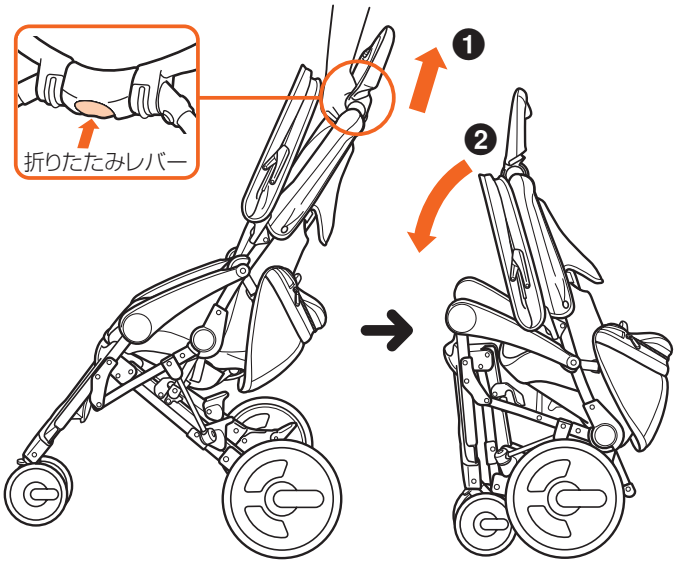
4 左右の後脚レバーを押し下げる。

押し下げた後脚レバーは、ベビーカーが折りたたまれると自動で元に戻ります。

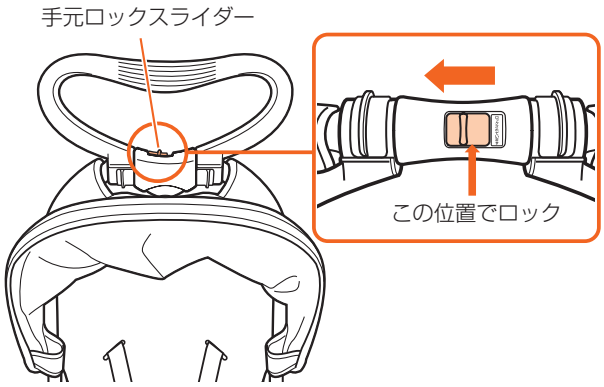
ベビーカーは後脚レバーを押し下げなくても折りたたむことはできますが、折りたたみにくい場合がありますので、後脚レバーを押し下げ折りたたんでください。



5 ❶ 折りたたみレバーを握りながら、軽くハンドルを持ち上げる。 ❷ そのままレバーを握りながら、ハンドルを前方へ押し下げる。



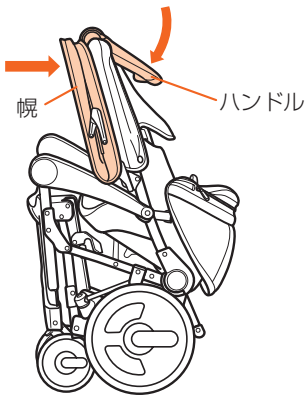
6 手元ロックスライダーを左へスライドして、折りたたみをロックする。



ベビーカーを収納するときには

ハンドルの角度を最も下にすると、コンパクトに収納できます。

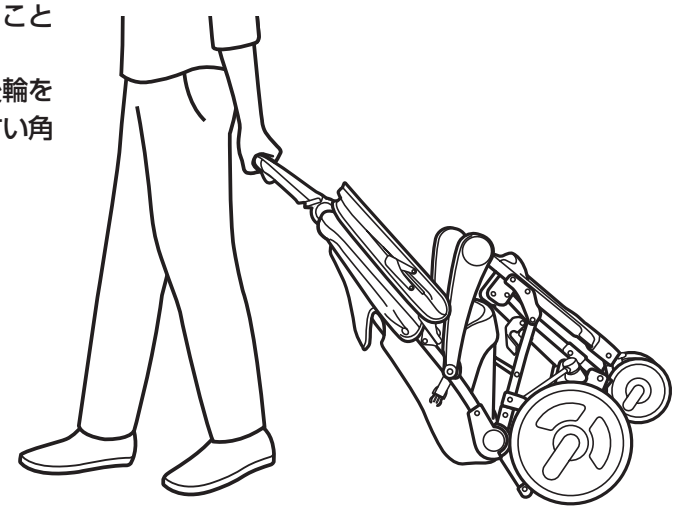
また、収納するときには、すき間がないように幌をきちんと後ろにまとめてください。



注意 ベビーカーを折りたたみ自立させるときは、なるべく水平な場所で行ってください。床面などが不安定ですと、転倒するおそれがあります。

移動のしかた

●ベビーカーは折りたたんで移動させることができます。
図のようにベビーカーを少し倒し、後輪を使い移動させます。（このとき持ちやすい角度にハンドルを調節してください）



注意
- フレームが地面に擦れてしまう場合は、ハンドルの角度を調節してください。
- 折りたたんだまま移動するときは、キャリーバッグを取りはずしてください。地面の段差などでキャリーバッグおよび荷物に破損や汚れが生じるおそれがあります。

キャリーバッグの使いかた

⚠警告

お子さまをキャリーバッグで遊ばせないでください。お子さまがキャリーバッグをかぶったりすると窒息するおそれがあります。

⚠注意

- 2kg以上の荷物は入れないでください。破損の原因となります。
- 角のとがったものや、キャリーバッグからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。キャリーバッグの変形およびやぶれの原因となります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。
- キャリーバッグは保冷専用です。保温機能はついておりません。
- 本製品の保冷機能は補助的なものですので、長時間の保冷には適しません。要冷蔵食品は絶対に入れないでください。
- ファスナーはしっかり閉めてお使いください。少しでも開いていると保冷効果が弱まります。
- ミルクの入った哺乳瓶やマグなどは斜め・横・逆さの状態で持ち運ぶと、漏れる場合があります。キャリーバッグに入れる場合は、ご使用のマグや哺乳瓶の取扱説明書を確認してください。
- ミルクを調乳した状態の哺乳瓶やマグなどを、キャリーバッグに収納したまま外出されますと、ミルクの質が低下しますのでおやめください。

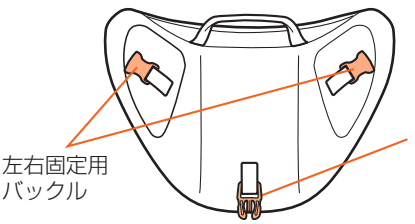
取り付けかた

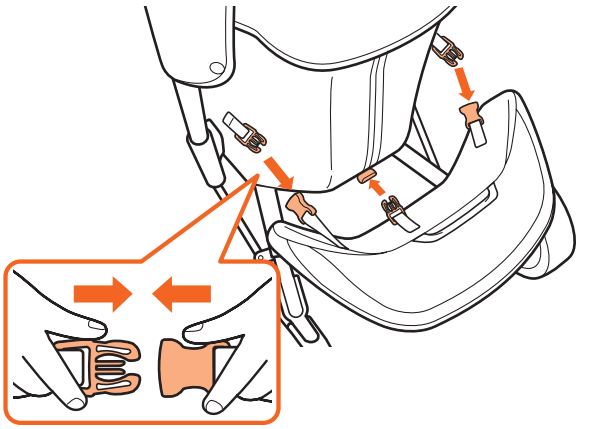
1. キャリーバッグ裏側下部の固定用バックルを、座板後部のバックルにとめる。
2. キャリーバッグ裏側左右の固定用バックルを、アームレスト後部左右のバックルにとめる。

⚠注意

キャリーバッグ固定用バックルは、必ず3ヶ所とも取り付けて使用してください。

固定用バックル3ヵ所（バッグ裏面）





キャリーベルトの使いかた

ウエストバッグとして使うことができます

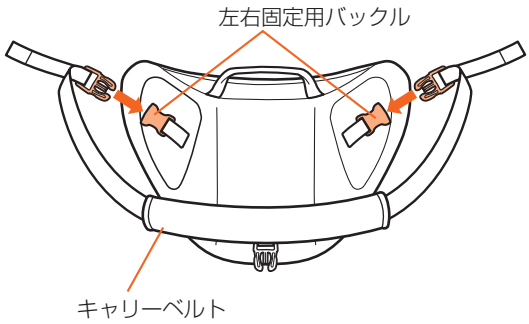
キャリーバッグをベビーカーからはずしたときは、キャリーベルトを取り付けウエストバッグとして使うことができます。

注意

ウエストバッグにお子さまを乗せないでください。ウエストバッグ型の子守帯の機能はありません。

キャリーベルト左右のバックルを、キャリーバッグの左右固定用バックルにとめる。

キャリーベルトの長さを使用者の体型にあわせて調節します。



警告

キャリーベルト先端の返し縫い部をほどいたり生地を切らないでください。故障や重大な事故につながるおそれがあります。

注意

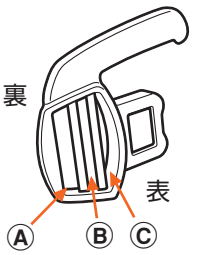
- キャリーベルトの取り付け後は、ベルトを引っぱり確実に取り付けられていることを確認してください。
- ベルトにほつれ、やぶれ、傷が生じたりあるいはバックルなどが破損した場合は、ただちに使用を中止してください。
- 使用者が痛みや不快を感じた場合は、使用を中止してください。

部品の取り付けかた・はずしかた

シートベルトの取り付けかた

腰ベルトの差し込みバックルへの取り付けかた

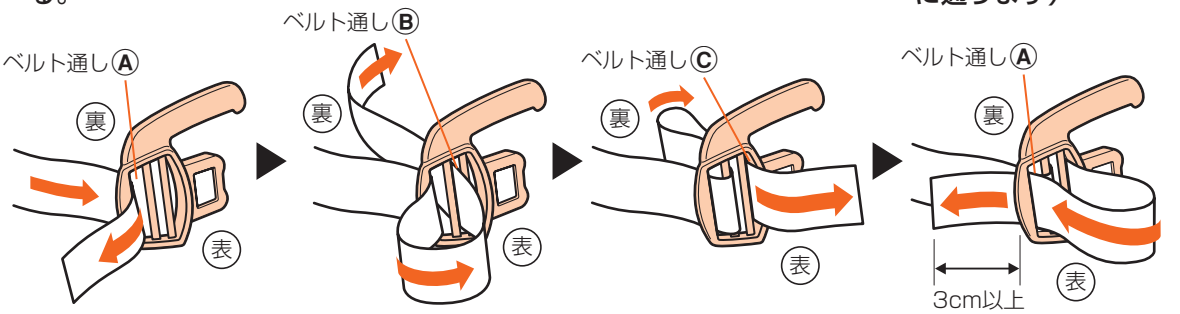
差し込みバックルのベルト通し(ⒶⒷⒸ)



⚠注意

差し込みバックルの取り付けかたが、不完全ですと、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。腰ベルトをバックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

1. バックルのベルト通しⒶに腰ベルトを通す。このとき、腰ベルトはバックルの裏側から表側に向ける。
2. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒷから裏側に通す。
3. バックル裏側にある腰ベルトを、ベルト通しⒸから表側に通す。
4. バックル表側にある腰ベルトを、ベルト通しⒶから裏側に通す。(ベルト通しⒶには腰ベルトが2重に通ります)

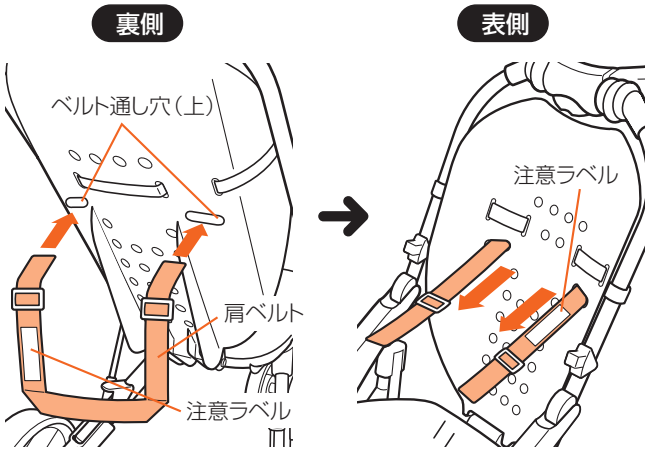


※腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調節してください。

肩ベルトの取り付けかた

ベルトの裏表を確認し、表側を上にして背板の左右のベルト通し穴に裏側から通し、着脱シートの表側に出します。

※注意ラベルのある側が表側です。

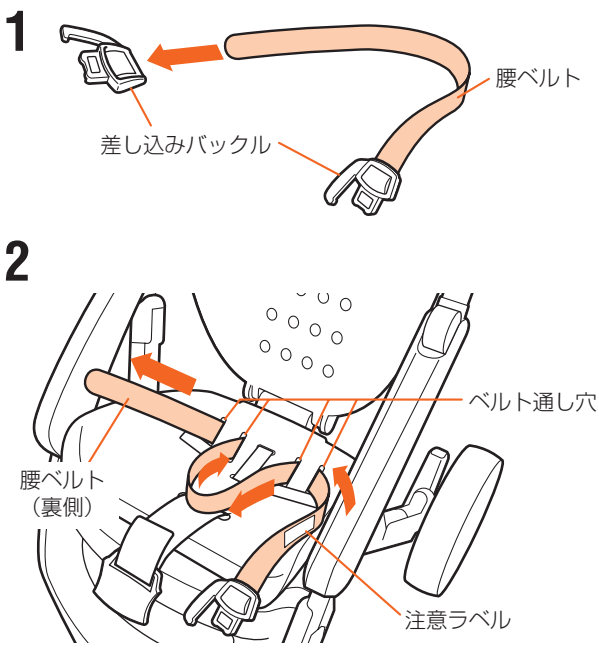


注意

着脱シートをはずして使用することは、絶対におやめください。背板や座面にある穴、突起、すき間によりお子さまの指などが傷つくおそれがあります。

腰ベルトの取り付けかた

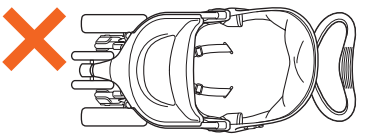
1. **腰ベルトから、片方の差し込みバックルをはずします。**
2. **腰ベルトの裏側を上にして、図のように座面の4ヵ所のベルト通し穴を通し、着脱シートの表側に出します。**
   ※注意ラベルのある側は表側です。
3. **はずした差し込みバックルを取り付け直します。**



幌の取り付けかた・はずしかた

⚠注意

- 保管の際には、幌の変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。また、高温になる場所での保管もおやめください。
- 幌を持ってベビーカーを持ち上げないでください。幌がはずれてベビーカーが落下したり、折りたたまれるおそれがあります。

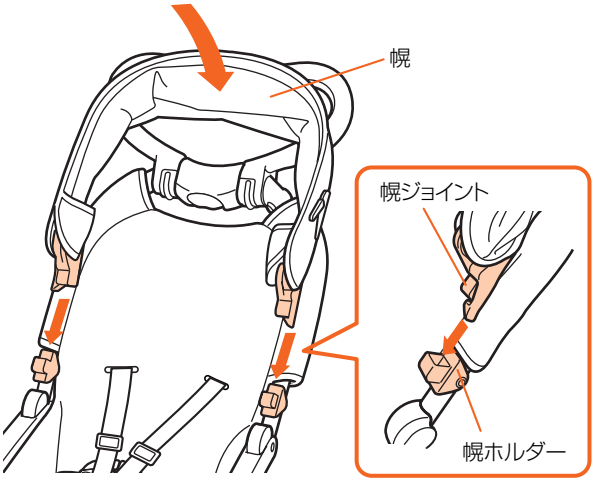


取り付けかた

幌をたたみ、幌ジョイントを幌ホルダーにしっかり差し込み固定する。

『カチッ』と音がするまで差し込んでください。

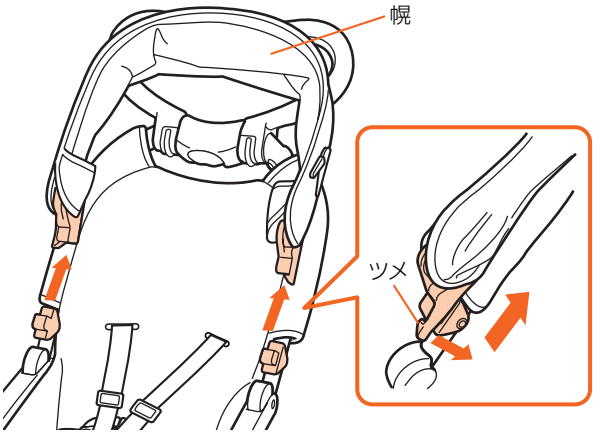
ジョイントが固く差し込みにくい場合は、幌ジョイントのツメを外側に広げながら差し込んでください。



はずしかた

幌をたたみ、幌ジョイントのツメを指先で外側に広げて、幌ホルダーから引き抜く。

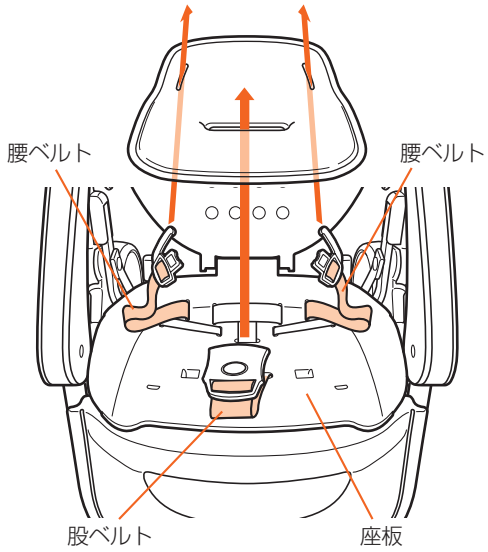
ツメがひっかかり外側に広げられない場合は、幌ジョイントを押し下げると、引き抜きやすくなります。



座面用エッグショックパッドの取り付けかた

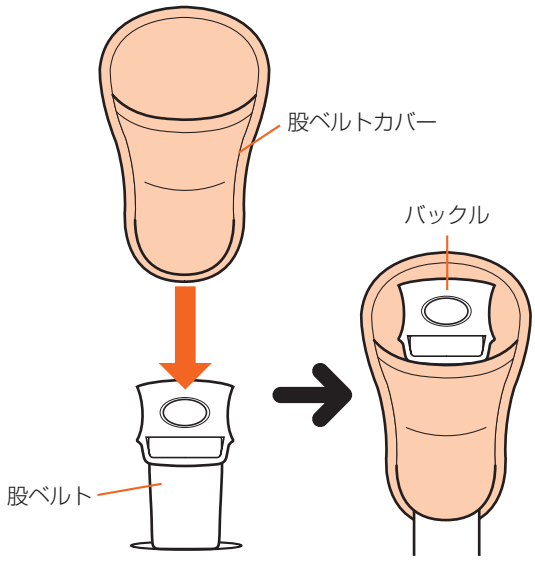
●エッグショックパッドは、座板に取り付けて、お子さまを乗車中の揺れやショックからサポートします。ベビーカーを使用するときは、必ず取り付けてください。
●エッグショックパッドは洗濯できません。

腰ベルト、股ベルトをエッグショックパッドの各通し穴に通し、座板に取り付ける。



股ベルトカバーの取り付けかた

股ベルトを股ベルトカバーに通し、バックルを出す。



着脱シートのはずしかた・取り付けかた

⚠注意
- 着脱シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむおそれがあります。
- やぶれやほつれの発生した着脱シートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、着脱シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
- 着脱シートを取り付ける際に、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガややぶれなどの原因となります。

※着脱シートについて

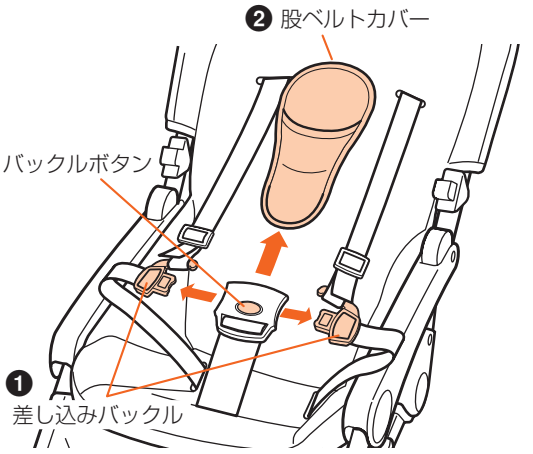
お子さまの服や靴に面ファスナーが付いている場合は、シートに面ファスナーが付着しないように気をつけてください。メッシュ生地に引っかけて傷つけるおそれがあります。

はずしかた

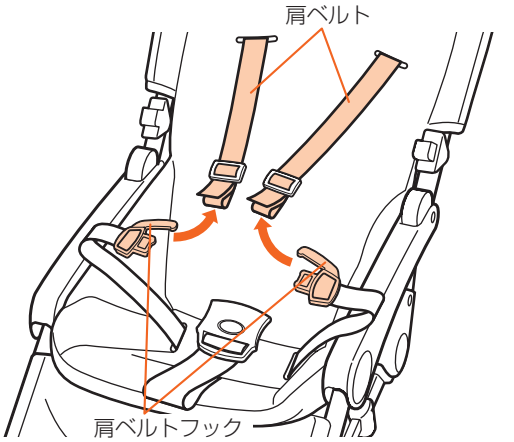
1 キャリーバッグと幌をベビーカーからはずす。

「キャリーバッグの使いかた」17ページ、「幌の取り付けかた・はずしかた」21ページをご覧ください。

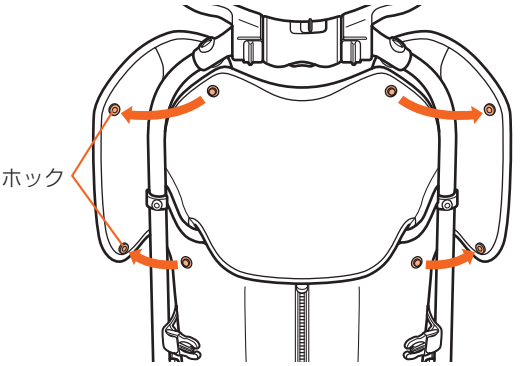
2 ❶バックルボタンを押して、バックルから差し込みバックルをはずし、❷ 股ベルトから股ベルトカバーをはずす。



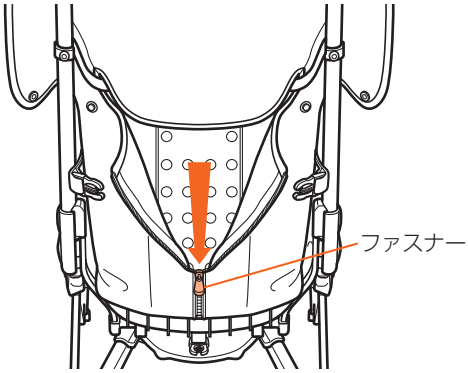
3 差し込みバックルの肩ベルトフック（左右）から、肩ベルトをはずす。



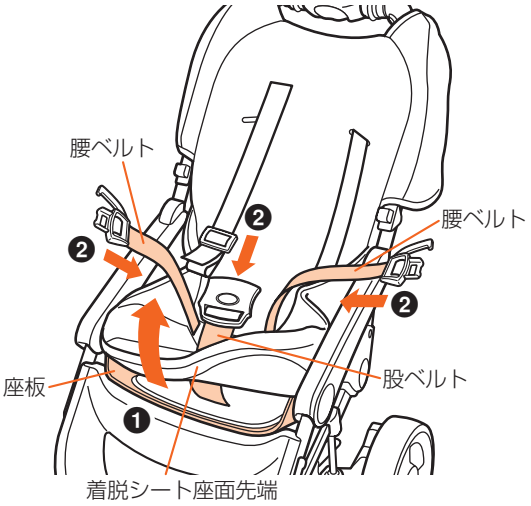
4 着脱シート背面両側のホック（4ヵ所）をはずす。



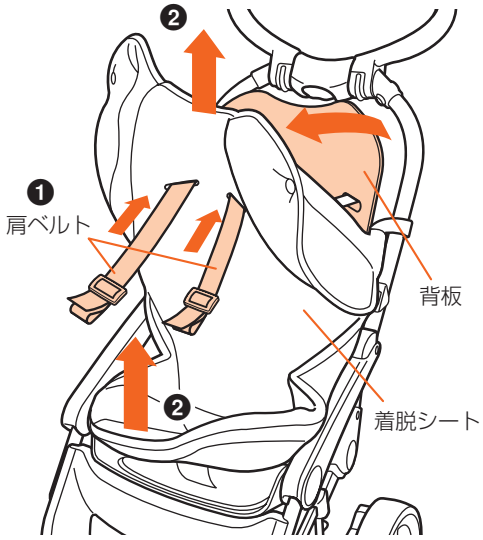
5 着脱シート背面中央のファスナーをはずす。



6 ❶着脱シート座面先端を座板からはずし、前方向に引き抜き、
❷腰ベルトと股ベルトを着脱シートから引き抜く。



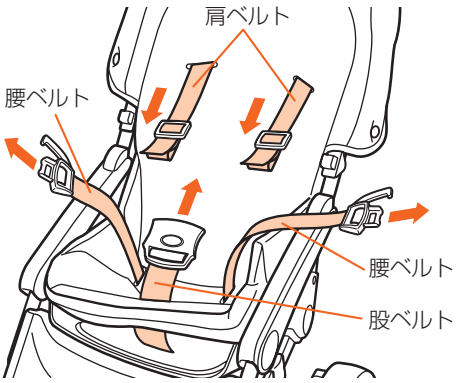
8 ❶肩ベルトを肩ベルト通し穴から引き抜き、
❷着脱シートの上部を背板からはずし、着脱シートを上方向に引き抜く。



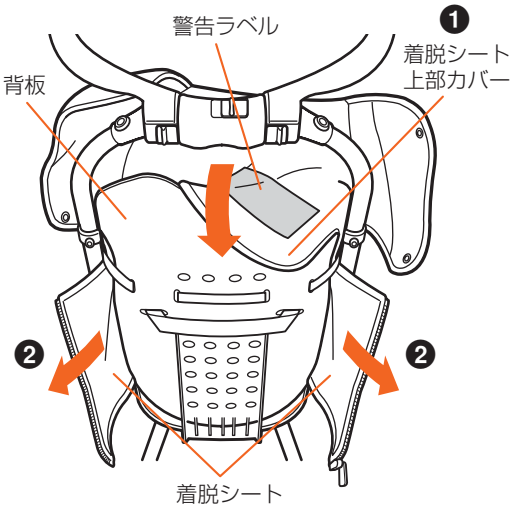
取り付けかた

●着脱シートを取り付ける前に、必ずシートベルトと座面用エッグショックパッドを取り付けてください。「シートベルトの取り付けかた」19ページ、「座面用エッグショックパッドの取り付けかた」22ページをご覧ください。

1 シートベルトをそれぞれのベルト通し穴から、着脱シートの表側に引き出す。

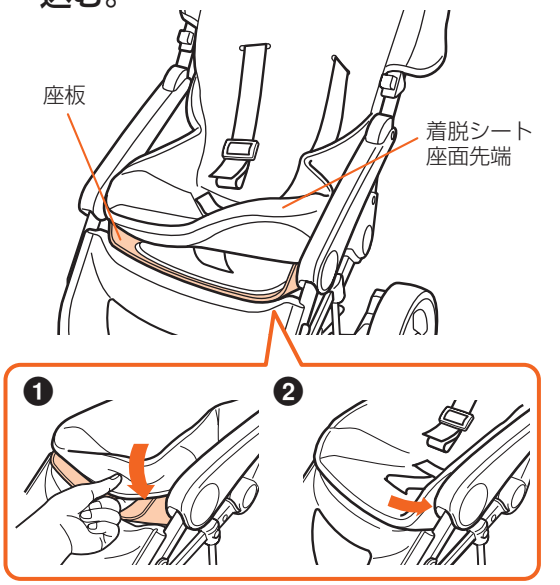


2 ❶着脱シートの上部カバーをベースシートにかぶせ、
❷着脱シートの両側を背板とパイプのすき間から引き出す。



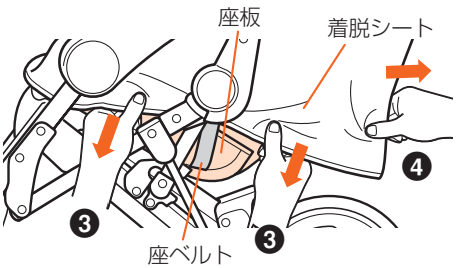
着脱シートの上部カバーをかぶせるときは、警告ラベルが表になることを確認してください。

3 ❶着脱シートの左右の座面先端を座板の左右先端にかぶせ、
❷アームレストとのすき間に押し込む。



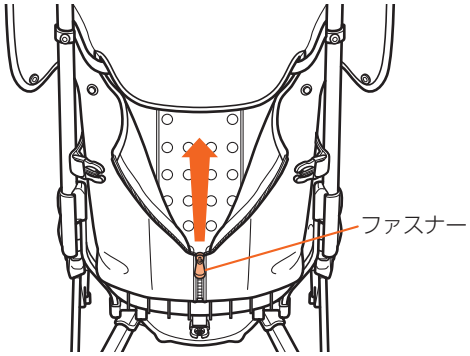
❸着脱シートの両側の端を引っぱり、座板両側にかぶせる。

着脱シートの両端は座ベルトと座板の間に入ります。

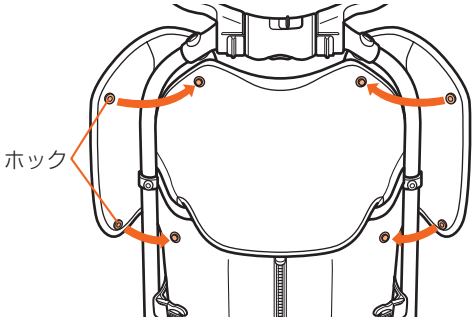


❹座板と着脱シートの間にたるみがないように、着脱シートの後ろを引っぱる。

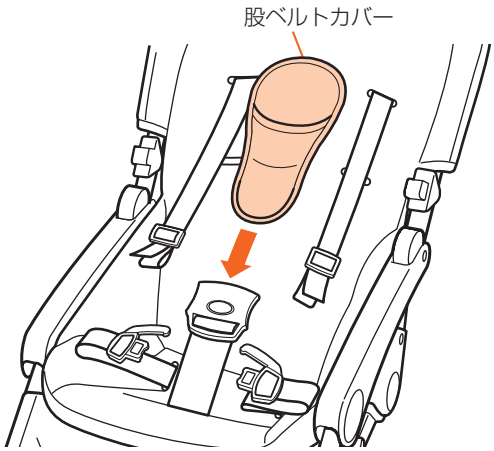
4 着脱シート背面のファスナーを閉じる。



5 着脱シート背面両側のホック(4ヵ所)をとめる。



6 股ベルトカバーを取り付ける。



日常のお手入れ

縫製品の洗濯について

●着脱シートの洗濯

40℃以下の液温で手洗いしてください。

- 洗濯機は使用しないでください。
- 手洗い時は着脱シートの背面のファスナーを閉じてください。
- 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
- 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形をととのえて平干ししてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

●肩ベルト、股ベルトカバー、腰ベルトの洗濯

- 40℃以下の液温で手洗いしてください。
- 股ベルトカバーを手洗いする場合、きついもみ洗いはしないでください。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形をととのえて、陰干ししてください。

●幌、キャリーバッグ、キャリーベルトの洗濯

- 液中につけず、40℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 幌のプラスチック部分やキャリーバッグのホックなどでケガをしないように注意してください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

※ 製品の特性上、若干色あせすることがあります。
※ 洗濯の際は、天然脂肪酸をベースとした成分で、蛍光剤・漂白剤・酸素などを含まない「コンビおむつ肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために、こまめに洗濯することをおすすめします。
※ 保管状態により、カビが発生することがあります。こまめに洗濯をし、清潔に保つように心がけてください。

●エッグショックパッドは洗濯できません。

車体の清掃について

⚠注意 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

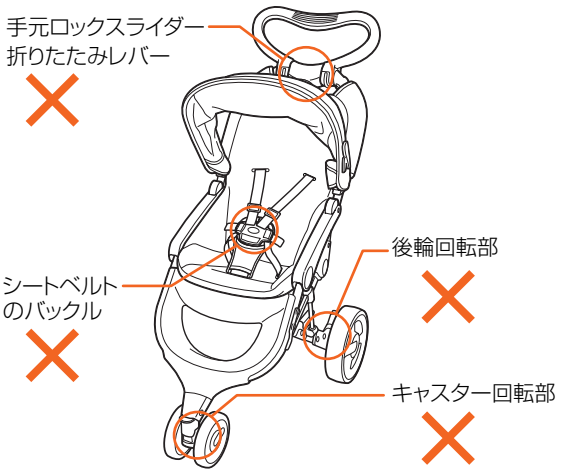
● 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について

⚠注意 お子さまがなめる可能性の高いアームレストなどには油が付着しないようご注意ください。

● きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量、注油してください。
注油するときは、注油箇所の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。

● **下に示す箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。**



その他

保管のしかた

⚠注意 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

●直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。
屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
●車のトランクに入れて運ぶ場合は、キャリーバッグをはずしてください。

点検とアフターサービスについて

●下記のような場合にはただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。
- 車体のパイプが曲がったり破損が生じた場合。
- プラスチック部品に割れや変形が生じた場合。
- 著しく操作性が低下した場合や走行に異常を感じた場合。
- ネジのゆるみやシートおよびシートベルトにやぶれ、ほつれなどが発生した場合。
- 部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合。

そのまま使用しますと、重大な事故につながるおそれがあります。
お問いあわせの際は、アームレスト左後方のパイプに貼ってあるシールをご覧になって機種名・ロットNoをお知らせください。
●ネジ類のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか適時点検してください。
●危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
●お手入れの際に取りはずした製品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。
●本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。
製品使用上は差しつかえありません。

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271
TEL.(048)797-1000
FAX.(048)798-6109

コンシューマープラザ
(Customer Service Center)／西日本担当
〒550-0014　大阪府大阪市西区北堀江1-1-18
TEL.(06)6536-0456
FAX.(06)6536-4468

廃棄方法について

●お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。
●地球環境のため、放置はしないでください。

便利なオプション（別売り）

ニンナナンナ
子守帯ケープ
（5ウェイタイプ）

コンパクト
レインカバー
晴れるといいな
ZT

●雨のときの外出や出先での急な雨などにお使いください。